

平成22年11月12日発行

第151号

こうふ町 議会だより

町勢

世帯数/1,143世帯

人口/3,522人

(平成22年11月1日現在)

町の木



ぶな

町の花



あやめ

21年度決算を認定…………… 2 P

決算特別委員会参考意見…………… 7 P

いっぱん質問 町政を問う…………… 10 P

私のひと言…………… 14 P



めざせ日本一!

(全国食味コンクール)

歳出総額

50億5,713万円認定

一般会計

34億6,073万円

特別会計

15億9,640万円

厳しい財政状況の中

安心・安全・学校教育等の施策展開

平成22年第7回江府町議会9月定例会は13日に招集され会期を24日までの12日間として開かれた。今回の定例会は平成21年度の一般会計と16の特別会計の決算を特別委員会で審議した。

町長提出議案37件は慎重審議され、すべて原案通り可決した。

また最終日に江府町議会会議規則により3議案議員発議し可決した。

一般会計

平成21年度の一般会計は歳入35億6940万円、歳出34億6073万円で黒字決算となった。

歳入は地方交付税、国庫支出金、繰越金が増額、

町税、地方譲与税、財産

収入が減額となったが、

差引増額となった。

主な歳入は、地方交付

税14億2974万円、町

税8億5397万円、で、

国庫支出金3億2710

万円、県支出金2億34

62百万円、諸収入8千

384百万円等で増額と

なった。

歳出は土木費、農林水

産費が大幅減額となつた

が、総務費、衛生費、教

育費は増額となる。

費目別内訳(主なもの)

(1)公債費

9億6570万円。

構成比率27・9%

(2)総務費

6億8115万円。

(3)民生費

5億2767万円。

(4)教育費

3億8595万円。

(5)農林水産費

2億9768万円。

(6)衛生費

2億8229万円。

(7)土木費

9千429万円。

(8)消防費

7千282万円。

などです。

特別会計

平成21年度の16会計は、歳入総額17億8487万円、歳出は15億9640万円、前年対比91・4%の減額となりました。

主な歳出は国民健康保

険(事業勘定)3億46

00万円、国民健康保

険(施設勘定)2億619

8万円、介護保険(保健

事業勘定)4億3394

万円、農業集落排水事業

2億8833万円、特定環

境保全公共下水道事業6

千635万円、簡易水道

事業1億231万円など

です。

監査委員の審査意見

「小さくても元気で明るい輝きのある町づくり」を目指した取組みを

21年度歳入総計53億5427万円対前年103・5%、歳出総計50億5713万円対前年106・1%、歳入歳出とも10年前の81%程でございます。

収入未済額について申し上げます。20年度末3618万円、21年度末3825万9000円と増加しています。

また、現年度分徴収率は高いが、滞納分徴収率は

が低くなっています。積

極的な徴収とともに時効の中断に努められていることを認めますが、引き続きなお一層の努力をいただくことを切望いたします。

自治体の財政状況の良し悪しを判断する目安に実質公債費比率の他、主なものとして財政力指数、経常収支比率、公債費負担比率があります。当町の財政力指数

5%、21年度94・2%、20年度は県内町村で一番高く、財政構造が弾力性を失っていると言えると思います。

起債繰上げ償還、経費削減等の努力を認めますが、引き続き経常経費削減、起債の抑制など財政健全化に向け、努力を行う必要があると思います。地方公共団体の健全化に関する法律に基づき審査いたしました。

の財政力指数は20年度0・364、21年度0・355
県内町村平均20年度0・336に比べ高い数値になっていますが、今後も下がるものと思われるものとされます。
経常収支比率20年度94・

審査の方法として、健全化に関する法律第3条第1項の規定による健全化判断比率及びその算定の基礎となる事項を記載した書類、及び同法第22条第1項の規定による資金不足等につきましても見せていただきました。
健全化判断比率及びその算定の基礎となる事項を記載した書類係数は、いずれも適正に作成され

ていることを確認いたしました。

21年度は、実質公債費比率は22・9%となり、20年度22・8%に比べ0.1ポイント悪くなっており、早期健全化基準25・0%を下回っているが高い比率であり、将来負担比率は20年度173・6%から21年度127・7%となりました。参考に申し上げますと、江府町民1人当たりの実質的な財政負担は20年度約144万円、この負担額は県下で1番高い負担額であり、21年度末試算では136万円であります。

監査留意事項

- 1、行財政改革の一層の推進を図られたい。
- 2、一般会計、特別会計の未済額の徴収事務に一段の努力を図られたい。
- 3、滞納対策の更なる充実強化に努められたい。
- 3、人事評価制度導入について努力されたい。
- 4、統合により閉校とな

要望事項

つた小学校、エバーランド等町財産の維持管理を検討されたい。また、不要財産は売却出来るものは売却する等管理費削減に努めていただきたい。

「食のみやこ鳥取」としてPRされていますが、県内にはB級グルメとして牛骨ラーメン、あごカレシ、マグロラーメン他各地で取り組んでおられるようです。江府町も特産品を使用した食品開発も一つと思います。

「江尾十七夜」で特産品販売コーナーを出店するのも方策であると思います。特産品販路の拡大推進をお願いいたします。最後になりますが、少ない予算でも住民が安心、安全で暮らせ、将来展望の持てる「小さくても元気で明るい輝きのあるまちづくり」をめざし、取り組みをお願いし報告とさせていただきます。





買い物風景

高齢者買物困難地域 緊急支援の活用は

Q 高齢者の方の買い物に困難になり、支援制度は活用されているか。

A 平成21年から始めたこの事業は町内の2事業者を対象に支援を行い、高齢者の食の確保を図っています。

総合健康福祉センター

Q 住民の健康づくりの今後の取り組みは。

A 施設の利用状況は住民健診をはじめ年間4千人が利用しています。駐車場を含め、総合的に検討していきます。



駐車場

中学校の将来にむけて

Q 江府中学校の校舎が老朽化し、生徒数は減少しているが、今後の取り組みは。

A 中学校のあり方委員会から答申が出されました。今後、出された答申を元に、検討していきます。



江府中学校



子供の国保育園

保育園の保守と環境整備は

Q 建設されて約30年が経ち、老朽化が目立っている。保育環境はどうか。

A 少子化により子ども数が減少しています。0歳児から子育て支援センターとして、環境整備に努めます。

プレミアム商品券 交付事業の効果は

Q 町内商工会で利用できる1万円(2千円のプレミアム買い物券)の効果は。

A 商品券の販売総額1千万円補助金2百万円は、低迷する小売業の購買意欲を出してくれました。今後も検討していきます。

決算の審議

一般会計

財政健全化の見通し

Q 平成21年度決算からみると国の基準を若干クリアしているが、今後財政健全化の進展は。

A 早期健全基準25%は下回っています。繰上償還など、出来るものから対応し、財政健全化を進めます。

気になる税収は

Q 今年の固定資産税の主なものはどうなっているか。

A 一番大きな税収先の中国電力の固定資産税は、3,200万円の減額ですが、今年は国からの交付税が増えたため微増しています。

町営バスの運行は

Q 昨年から町営バスになったが、町民の利便性は向上したか。

A バスを1台増やし利便性を図り、運営委託をお願いしています。日本交通も安全運転に努め、今後もダイヤ等の改善を図り、安心・安全に努めます。

交流事業の成果は

Q 西ノ島町・魚崎町・関西交流会は。

A 西ノ島町との児童間交流は今後も充実させていきます。関西交流については経済面の波及等出来るよう検討していきます。

太陽光発電の普及は

Q 新エネルギー事業の普及が広がらないのはなぜか。

A 太陽光発電に対し、コストがかかり、伸び悩んでいるが今後十分検討したい。



西ノ島児童交流会(冬)



西ノ島児童交流会(夏)

防災情報センターのあり方

Q 西部地震のような災害で機能は十分発揮出来るのか。

A 役場本庁舎が災害時の本部になりませんが、速やかに災害本部を防災情報センターに移し対応していきます。

経済危機対策臨時交付金の活用は

Q 経済の低迷に緊急対策が行われたが、うまく活用が出来たか。

A 公共施設の解体事業をはじめ、ふる里農道整備など幅広く活用されました。

町議選・衆議院選は

Q 町議選・衆議院選の投票率は。

A 町議選の投票率約89%。衆議院選は小選挙区・比例代表は、85%。県下では高投票率でした。皆様の政治参加をお願いします。

特別会計

国民健康保険は

Q 医療費は一時時期下がっていたが平成21年度の状況はどうか。

A 平成20年に比べ若干下がったが、依然県下で高い医療費が続いています。

新型インフル エンザ対策は

Q 昨年、新型インフルエンザが流行したが今年はどのような対策を取っているか。

A 今年度は、新型インフルエンザと従来の季節性インフルエンザを合わせたワクチンを予防接種に使用します。13歳未満は、2回接種し、14歳以上は医師の指示がない限り1回の接種となります。

況はどうか。

A 平成21年度末の要介護認定者は195名で昨年より20名増加。居宅介護を受けている方は124名、施設介護を受けている方は67名となっており、昨年から7、8名の増加しています。

索道事業は

Q 昨年度のスキー場の状況は。

A 昨年は、雪に恵まれ黒字となりました。今後、指定管理の受け手を模索しながらそれまでは、町で運営を行います。

Q 後期高齢者の医療について県下1つの広域連合で行うと聞いているがその状況はどうか。

A 国の状況を見ながら、現在県で検討中です。

診療所の状況は

Q 診療報酬が前年より約300万円減少しているがその原因は何か。

A 国の制度改正により、診療報酬の点数が下がったのが主な原因です。

施設介護の状況は

Q 在宅介護を基本として始まった介護制度だが、施設入所の希望が多いようだ。今の状況はどうか。

A 自己負担は、13歳未満は1回500円、その他は1回1000円ですが19歳から64歳で課税世帯の方は1回2000円となります。また、予防のためのマスク・うがい・手洗いの励行を指導したいと考えています。

下水道事業は

Q 川筋地区農業集落排水と江尾地区公共下水道を接続し合理化する件はどうか。

A 法律による処分等の基準が違うなど課題はあるが、全国では例も見受けられるので県とも連携し今後検討して行きたい。

Q 川筋地区農業集落排水と江尾地区公共下水道を接続し合理化する件はどうか。



佐川処理場

決算特別委員会

参考意見

一般会計

総務課

1. 財政状況について

厳しい財政状況に対し、人件費の自主抑制により、町長20%・副町長12%・一般職7%・管理職手当1%カットとしている。今後とも財政健全化に取り組んで頂きたい。

2. 小学校統合について
小学校統合から1年が経過し、旧小学校の有効利用に努力されたい。



米沢小学校

3. 防災情報センター管理費について

現在役場本庁舎が災害時の本部であるが、使用不能になった場合、防災

情報センターが緊急時の防災基地として設置される。緊急対応出来るよう、点検等に努められたい。

企画政策課

1. 今後の公債費比率と行財政改革について

平成21年度実質公債費比率は22・9%将来負担比率127・7%を下回っているが、引き続き厳しい財政状況を把握しながら、財政健全化に努められたい。



俣野小学校



明倫小学校

2. 企画費・新エネルギー推進事業について

平成21年度は5件の事例があったが、太陽光発電に対してまだまだコストがかかり、伸び悩んでいます。今後推進に努められたい。

3. 緊急雇用対策事業について

1年から3年の短期の雇用対策事業が補助事業で行われていますが、継続的に続けていけるような雇用対策を検討し、実施に繋がられたい。

4. 基金について

平成21年度は、環境美化推進基金に500万円が設立されるなど、決算で1755万円の増額となり、6億8607万円の基金残高です。財政が厳しい中、基金の繰り入れが出来る様、財政改革に努められたい。

町民生活課

1. 未収金の固定化について

町税の徴収率98・73%は県下で上位であります。昨年より減少している。滞納者の固定化が見うけられる。徴収に万全を期されたい。

2. 町営バスの運営について

運行から1年が経過し、町民生活の交通手段として中型バスを1台増車し、7路線を運行し利便性を図っている。子供たちの通学で、乗車率も上がっているが、今後はタイヤ等検討し、安全・安心な運行に努められたい。

3. 消費者行政推進費について

悪質販売など、住民がトラブルに巻き込まれない様に、啓発活動を積極的に進められたい。

福祉保健課

1. 老人クラブ連合会活動補助金について

老人クラブ21クラブ・957名に補助している。高齢化が進む中、生き甲斐を生み出す一つとなっています。これからも元気で明るい地域のために活かして頂きたい。

2. 総合健康福祉センターについて

利用者が駐車するのにスペースが手狭になり、駐車場の拡大に向け、周辺地権者の方と更に協議されたい。



診療所駐車場

3. 予防費について
 新型インフルエンザが猛威をふるったが、予防接種等適切な対策がとられた。子宮頸がん予防ワクチンの接種等各地で行われているが、積極的に取り組まれない。

農林産業課

1. 企業誘致について
 誘致企業の工場増設の可能性について検討されているが、わが町の大切な資源「水」です。これからも環境に充分配慮し、地域が活かされる企業誘致対策を進められたい。

2. 交流事業について
 現在魚崎町交流・関西交流・西ノ島町交流等行われています。今後も発展に努められたい。

3. 農業振興について
 チャレンジプラン支援事業・農業法人経営拡大支援事業等、国・県の補助事業を積極的に取り組んでいるが、この中山間地農業の米・野菜・加工食品等農業振興に努められたい。

4. 市民農園指定管理事業について
 農園契約は3件です。運営審議会を開催し、対策を講じる必要がある。

5. 観光事業について
 伝統の「江尾十七夜」の祭りを始め、奥大山の自然を活かした観光・食の開発に取り組まれない。



江尾十七夜

6. 林業の作業道等について
 林業の作業道等補助事業の積極的な活用を図り、連携して、林業の活性化に努められたい。

1. 同和対策・人権対策について
 広域隣保活動と、各支部活動の充実が努められたい。

2. 指導主事の設置について
 保育園・小学校・中学校の連携で教育推進に成果を上げている。今後も続けられたい。

3. 教育について
 通学費の補助・西ノ島町との交流事業の活発化、英会話の能力向上に成果が出ている。今後も続けられたい。

4. 学校給食について
 「食の安全」「地産地消」「児童・生徒の食育」に努められたい。

教育委員会

建設課

1. 日野郡三町衛生施設組合について
 三町の連携を図り、し尿処理業務の推進を図ら

特別会計

国民健康保険(施設勘定)

歯科、医科とも経営は、順調に行われている。その中で、待ち時間が多く以前から懸案となっていた駐車場の増設が急がれる。今後患者数の予測と診療所の体制を調査し、将来に向けた計画の取組みを検討されたい。

介護保険事業(保険事業勘定)

平成21年度末の施設入所者は67人(前年より7(8人増) 居宅サービスを受けられる方は124人となっている。年々、施設入所者は増加しており今後もこの傾向は続くと思われる。施設入所は順番待ちとなっており実際の入所希望者はかなり多いようである。診療所を中心に住民の病气予防に今後とも努められたい。

簡易水道事業

簡易水道等の16施設の維持管理に万全を期すると共に、西成集落水道の町営移管に向け努力されたい。

農業集落排水事業

平成21年度に宮市地区農業集落排水事業が完了し、新たに美用地区農業集落排水事業の工事に着手されている。今後、計画されている杉谷地区農業集落排水事業の早期整備に努められたい。

特定環境保全公共下水道事業

経営の合理化を図るため、江尾地区特定環境保全公共下水道事業と経年した川筋地区農業集落排水事業との統合を検討されたい。

法律による処分等の基準が違つなど課題はあるが、全国では例も見受けられるので県とも連携し、2施設の統合について研究されたい。



サントリー

特別会計 (16会計)**総額 15億9,640万円**

前年対比約8.6%減 (1億5,101万円)

一般会計、基金より3億990万円繰り入れ

・ 住宅新築資金等貸付事業	249万円
・ 国民健康保険 (事業勘定)	3億4,600万円
・ 国民健康保険 (施設勘定)	2億6,198万円
・ 老人保健	1,946万円
・ 介護保険 (事業勘定)	4億3,394万円
・ 介護保険 (サービス事業勘定)	131万円
・ 介護老人保健施設	3,577万円
・ 後期高齢者医療	4,567万円
・ 索道事業	6,214万円
・ 簡易水道事業	1億231万円
・ 農業集落排水事業	2億883万円
・ 林業集落排水事業	582万円
・ 特定環境保全公共下水道事業	6,635万円
・ 江尾財産区	10万円
・ 神奈川財産区	111万円
・ 米沢財産区	312万円

一般質問 町政ここを問う

一般質問は3人の議員が行い、町長ならびに教育長の方針をただした



優 歴史、文化等の 福祉政策は 財産保管・保全是

問	答
旧小学校文化遺産の保管場所、収納を急げ	旧米沢小学校に今年度より収納、閲覧

質問 小学校統合による旧校舎の遺跡は町の歴史、文化を伝えてくれる大きな遺産であります。保全保管場所、収納時期、閲覧などについて町長に伺う。

町長答弁 廃校の旧小学校にはそれぞれ歴史があり、卒業生だけでなくその校区住民の生活文化の源とも言える大きな遺産であります。各小学校にはいろいろな資料、財産が残っています。整理、展示して

閲覧出来るようにします。旧米沢小学校を資料館として、教室を小学校ごとに割り当て、資料を展示し、希望者は誰でも閲覧できるよう整備し、収納時期は今年度中に、閲覧については、方法を検討しながら来年度中におこなって参ります。

問	答
介護保険事業は	介護スタッフで事業展開

質問 高齢化が進む中、要介護認定者は、介護保険制度発足以来増加傾向にあり、施設入所が徐々に増加しておりますが、訪問介護事業など在宅における福祉政策について、町長に伺う。

介護保険制度における居宅サービスとして訪問介護、訪問看護などのサービスが、年々増加の傾向にあります。町単独事業として在宅をささえる福祉事業として、(1)家庭介護支援対策事業(2)えんげ機能評価事業、この事業は、高齢者の食への飲み込みの機能アップを図る事業、(3)地域を見守る支援員配置事業などです。在宅福祉については医師、看護師、介護支援専門員などの介護スタッフとの密接な連携を図って事業を展開します。

問	答
子宮頸がんワクチン助成は	23年度導入を検討

質問 子宮頸がんは若い女性の間で急増しており、10代前半の予防接種が有効とされております。全国的にも、県内市町村でもワクチン予防接種費用の助成制度が検討されておりあります。住民の安心・安全、健康づくりのため、江府町助成制度の検討が必要ですが、町長の所見を伺う。



福祉保健課

町長答弁 子宮頸がんは、ヒトパピローマ・ウイルスの感染が原因であることが立証されておりあります。これは、皮膚と皮膚の接触によって感染するウイルスで、多くの場合、性交渉によって感染すると考えられています。助成額は全国的には全額公費助成が主流ですが、県内市町村では費用の半額や一律5千円の助成を行っている状況です。本町としては、平成23年度から導入する方向で検討を行うと考えております。

水資源問題について



田中 幹啓

問	江府町の山は どんな状況か
答	町の貴重な財産に 注意をしている

質問 連日、マスコミでも報道しているが、日本の山が外国資本に買われている。三朝町でも最近あった話である。こうした環境の悪化の中で、水資源はさらに貴重な財産になる。本町もサントリ―の進出の中、水ビジネス社から見れば、魅力ある大地になっている。今後の動きに情報のアンテナを高くする必要を感じる。基本的に町の山林水資源についていかに考えるか伺う。

町長答弁

外資には林が買われていること等については、職員にも注意を促している。西日本、北海道でも中国の企業が山林を大規模に買収しようとしていることを報道している。山林は法的にも農地ほどの規制がないため、比較的、簡単な状況であり、今後の対策も必要と考える。外国の水の状況から考え、江府町の水資源に対し感謝を忘れてはならないと思っている。

大山周辺の貴重な資源を共生の森等の事業を通して、自然のメカニズムを壊さず、自然との共存共栄を図りながら、地域の発展、活性化に結びつけたいと考えている。

共同会議の今後は

問	共同会議に対する町長の意欲、抱負について
答	日野郡に住んでいてよかったですと言えらる会をめぐりたい

質問

片山知事時代に発足した、郡民会議から、共同協議会に七月から移行になったが、少子高齢化が進み日野郡は極めて厳しい局面を迎えている。会は四項目が確認されたこと報道しているが、私はこの会を通して、

①これからの日野郡の地域経済をどうするか。
②日野郡の教育をどうするか。
③日野郡の役場職員の人的交流など、あすの日野郡のあり方を徹底的に論議する、中身のある協議会にして欲しいと願うものである。初代会長として大いに指導性を発揮されることを願い、決意と抱負を伺う。

町長答弁

三町長がテーブルについて意見を出し合い、日野郡の課題を解決していく必要を感じておりましたので長年の思いが実った気持ちです。

三町が事務を連携して管理し、共同で執行することにより、行政のサービスマン維持、向上、効率的な行政運営を促進するとともに、郡の共通する諸課題の解決に寄与すること

とを目的にしています。当面は、日野郡内の障害者雇用に関する事務、母子保健分野における事務、事務用品の共同発注、消費者行政などからスタートします。

中長期的には様々な行政分野において協議を行うっていくことになりませんが、日野郡に住んでいてよかったですと言える会にしたいものです。



共同会議

議員定数の条例改正を



宇田川 潔

問	定数削減を
答	議会で検討 されるべき

質問 江府町議会議員定数を定める条例の改正について。現行定数10を8に改正する。現在、鳥取県議会でも定数削減に向けた議論が加速しており、定数削減問題は時代の趨勢であり、避けて通れない大きな課題である。この問題について、国、地方を問わずいろいろな見方、考え方の賛否両論があることは承知しております。

議員は、住民の代弁者行政への監視者として点検、審議、議決の大きな役目を背負っております。

が、役目を果たすために必要な資質を向上させることで、数の少なさを克服できるのではないのでしょうか。

全国の自治体の中には、定数8名で議会を運営している数多くの自治体があります。本議会も現在、1名欠の9名で運営しておりますが、支障を来さすようなことはありません。このことから8名で十分対応できるのではないのでしょうか。

財政再建の観点から定数削減に真摯に立ち向かうべき時が来たと言えます。

定数問題は、議会の自主的な取組みが本旨の考え方もありますが、先ずは条例提案権をお持ちの町長の所見を伺います。

次に、定数減の大きな目的は、なんと云っても財政健全化だと思えます。全国の自治体の首長の中には、行財政改革で自ら身を削り範を示し、議会に対しても議員報酬の削減と議員定数の半減を求める提案をされているリーダーもあります。この点いかがお考えでしょうか。

また議会基本条例や定数削減について、次期改選期を迎える2013年をにらんで、何らかの方向性を示していただきたい。

町長答弁

市町村議会の議員の定数につきましては、地方自治法第91条において条例で定めることや、人口規模に応じた上限の定数が規定されておるところでございます。本町における議員定数にかかわる経過を申し上げます。平成16年に単独で町政を維持していくことが決まったことから、議会みずから議会の活性化、行財政改

革における諸問題について検討するため、議会等改革に関する調査特別委員会を設置され、江府町議会議員政治倫理条例の制定や議員報酬の削減にみずから取り組まれただけでなく、議員定数についても調査検討が重ねられ、当時の議員定数14人を4人削減して、10人に変更する条例改正が議員発議により行われております。

議員定数の見直しにつきましては、今までと同

様に議会の自主的な取組みにより調査検討されるべきと考えております。報酬につきましては、私も就任以来、みずから削減をし、また副町長、教育長、職員、議員さんも削減をし、町の財政健全化に向け努力をいただいているところでございます。



議会基本条例については、住民の代表である議員さん方みずから、議会の中で論議をされ、方向性を出されるべきだと考えます。

江府町 財政明るいきざし!!



国も県も町も財政は厳しいものがあります。九百兆円からの借金をかかえる国も今後、どのように借金を返して行くのが大きな問題です。北海道の夕張が財政破綻してから、チエックが厳しくなり、地方自治体の財政健全化法が平成20年4月から施行されました。「実質赤字比率」「連結実質赤字比率」「実質公債比率」と将来負担比率」のこれらの値によって、イエローカード、レッドカードが出され、町が自由に行政運営、財政運営が出来なくなりました。

住民負担も大きくなり、厳しい局面に向かっています。江府町も、いろいろな事業を行ってきたため平成16年度には70億2850万円の借金が出来ていました。21年度決算では一年間に9億4182万円返すことが出来ました。その結果、借金は49億1338万円までに減らすことが出来ました。予算の中に占める借金返済額の比率は22%を越えていますので楽観的にはなれませんが、借金のピークをのり越えつつあります。将来負担比率は21年度決算では173・6から127・9%に45・9%低下しています。財政の健全化方向に向かっていると言える

と思います。過疎地域になっている自治体に対して、国は交付税で七割程度、面倒をみてくれる制度もあり、又、高い金利の借金を返すことの努力、経費削減行政のスリム化などの努力を真剣に行っています。住民のみなさんの要望をどこまで受けとめて事業展開していくのか、同時に財政とのバランスをいかに考えるか。議会においても夕張の教訓から、チエックの大切さを痛感していますので財政のあり方に対して、今まで以上に真剣に取り組んでいきます。

第5回

臨時会

7月27日開会

第6回

臨時会

8月23日開会

江府町地域情報通信基盤整備工事請負契約の締結について原案可決した。

◆契約の相手方◆

(株)NTT西日本中国

鳥取事業部設備部

(契約金額)

5億5965万円

(契約締結の方法)

指名競争入札

平成22年8月16日で任期満了の江府町固定資産評価審査委員会委員に小林榮さんを選任することに同意しました。

平成22年8月29日で任期満了の江府町選挙管理委員会委員及び補充員の選挙について千藤堯さん、入江恭子さん、田本賢二さん、中尾良樹さんが選任されました。

陳情の審査結果

件名	審議結果
子ども手当の廃止を求める意見書の提出に関する陳情書	継続審査
日本軍「慰安婦」問題の解決をめざす法制定を求める意見書の提出を求める陳情	継続審査
江府町社会福祉協議会への財政的援助並びに江府町における社会福祉協議会の位置付け等に関わる陳情書	趣旨採択

ひとこと



奥大山ブルーベリーファーム
事業部 古川英司

規模拡大 付加価値商品の開発

ブルーベリーファームが6年前計画され、社長の勤めもあり、大学を中退して北海道小樽から江府町にきました。園の場所は大山の南壁を間近に見ながら、恵まれた豊かな自然、抜群のロケーションに感銘をうけました。現在栽培面積10ha、45種類、16000本、栗3年目4品種、4000本、



その他とうもろこし、さつまいもなどです。観光客は県内外から約10,000人をこえました。将来ブルーベリーを20haに観光客25,000人を目標にしております。観光客の生食用だけでなく、ジャム等の付加価値商品に積極的に取組み全国に販売したい。スタッフは3人ですが、季節により臨時雇用して対応しております。何分高冷地であり冬の間の積雪のための維持管理、いのしし対策等の悩みもあります。ようやく仕事に責任を持てるようになり、楽しみも増えてきました。今後とも良品質生産に努力し、顧客要望に応えるため、観光農園充実を図りたいと思います。

こだわり商品 顔の見える商品



夢作り菓子工房
ヤコブの杖
店主 遠藤みさお

父の遺志を継ぎたいと思いい、ずぶの素人が試行錯誤しながら、ゼロからスタートし、無我夢中で商品づくりに専念して3年になります。父の信念でありました、こだわりを守り、大切な卵は、飼料にこだわる養鶏場のものだけを、隠し味には、自家梅園で育てた完熟の梅肉を、じっくり熟成させた自家製梅シロップを、国内産の小麦粉、お腹にやさしい甜菜



(てんさい)含蜜糖を使用し、スタッフみんな地元産の果物の収穫にも出かけます。そういうまつすくな思いが、お客様に伝わればとても幸せです。商品として、ケーキ類、キシッシュ(フランス産クリームチーズに新鮮野菜)、焼き菓子、バースデーケーキ等です。鳥取から松江地域を販売範囲と考えておりましたが、最近週末には、当初予定外の県外からも、お客さんに来ていただいています有難いことです。父が名づけた「ヤコブ」オリオン座の伝説の星に思いを込め、お客様に支えていただくところから「杖」を付け、店名「夢作り菓子工房ヤコブの杖」を守り、今後とも信頼される顔の見える商品づくりに一生懸命がんばる考えです。



▼猛暑、酷暑、果ては、炎暑とまで言われたあの暑い夏もすっかり秋と交代した。
自然の調香師の技か、金木犀の甘い香りが随所で漂う。
▼保育園、中学校、そして、高齢者のスポーツ大会も終わった。
子どもはいつの時代も元気でたくましいもの。ケンカをしながら社会のルールを学んでゆくものだ。と改めて感じた。
▼深まる秋にこれからイベントも盛りだくさんの様です。
▼議会広報研修に参加、読まれ、親しまれ、役に立つ議会広報を発行する様努力するのみ……
町民の方と情報を共有するためにも。
越峠

- 議会広報調査特別委員会
- 委員長 日野尾 優
 - 副委員長 川上 富夫
 - 委員 森田 智
 - 委員 田中 幹啓
 - 委員 越峠 恵美子